

製品安全データシート

平成6年 9月25日作成 平成21年 1月10日更新

1. 製造者情報

【会社名】株式会社 オーデック

【住所】東京都大田区東馬込2-19-10 第7下川ビル

2. 販売元情報

【会社名】株式会社 オーデックコーポレーション

【住所】東京都大田区東馬込2-19-10 第7下川ビル

【担当部門】化成品部

【電話番号】03-5718-7425

【FAX番号】03-5718-7426

【緊急連絡先】03-5718-7425

3. 製品名 セラコートスプレー〈アルミナ〉 C R S P

4. 物質の特定 P R T R 法 該当しない

【单一製品・混合物の区別】混合物

【化学名】セラミックペイント

【成分、含有量及びその他情報】

エタノール 16% (重量比) C A S : 64-17-5

アセトン 25% C A S : 67-64-1

セルロースガム 2% C A S : 9004-57-3

ケイ酸マグネシウム 2% C A S : 12173-47-6

アルミナ 55% C A S : 1344-28-1

5. 危険・有害性の分類

【分類の名称】急性毒性物質及び高圧ガス

【危険性】火災・爆発性 噴射剤に使用している液化石油ガスは容易に爆発し、空気より重いため、低所に滞留する。

【有害性】有毒性 蒸気は目、鼻、咽喉を刺激し、麻酔作用がある。短時間に高濃度の蒸気を多量に吸入すると急性中毒を起こす。

6. 応急措置

【目に入った場合】すぐに多量の水で15分以上洗眼し、もし刺激等が残っていれば医師の診断をうける。

【皮膚に付着した場合】汚染した衣類をぬがせ、皮膚を石けんでよく洗い、必要があれば皮膚調整用クリーム等を塗布する。

【吸入した場合】風通しの良い場所に移動し、新鮮な空気を吸わせる。

【飲み込んだ場合】指、スプーンの柄などを口中に入れ咽頭後壁を刺激して吐かせます。コップ一杯の水を飲ませた後にやると吐きやすくなります。吐かせた後にすぐに医師の診断を受ける。

7. 火災時の措置

【消火方法】

火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。又、延焼の恐れのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物などの冷却をする。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。

【消火剤】

粉末、二酸化炭素、ハロゲン化物、泡（アルコホーム）が有効である。

8. 漏洩時の措置

- ・風下の人を退避させる。漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。付近の着荷源となるものを速やかに取り除く、作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。
- ・少量の場合は、漏洩した液は土砂等で吸着させて空容器に回収し、そのあとを多量の水で洗い流す。
- ・大量の場合は、漏洩した液は土砂などでその流れを止め、安全な場所に導いた後、液の表面を泡等で覆い、出来るだけ容器に回収する。
そのあとは多量の水を用いて洗い流す。
- ・この場合、河川等に排出されないように注意する。

9. 取扱及び保管上の注意

【取扱】

- ・吸い込んだり、眼、皮膚、及び衣類に触れないように適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
- ・高温物、スパーク、火炎を避け、強酸化剤との接触を避ける。
- ・静電気対策を行い、作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。
- ・使いきって捨てること。
- ・換気に注意して、有機ガス用防毒マスク等を着用する。
- ・小児の手の届かないところで取り扱うこと。

【保管】

- ・直射日光を避け、温度が40℃以上にならない場所に保管すること。
- ・酸化性物質、有機過酸化物などと同一場所に置かない。

10. 廃棄上の注意

- ・事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、(処理する場合は条例などに基づいて処理して下さい)又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。・投棄禁止
- ・エアゾール缶としては、使いきって捨てること。
- ・これを含む排水は油水分離、活性汚泥等の処理により清浄にしてからでないと排出してはならない

11. その他

- 文献：
- ・危険物データブック： 消防庁警防研究会(昭和63年)
 - ・産業中毒便覧
 - ・12093の化学商品： 化学工業日報社発行
 - ・化学品安全管理データブック： 化学工業日報社発行
 - ・適用法規総覧： 化学工業日報社発行

記載内容の問い合わせ先： 化成品課 TEL：03-5718-7425